

ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾2020

カリキュラム (毎月1回土曜日開催 13:00~18:00)

7/25 (土)

①「オリエンテーション」

森 一郎 (神戸大学科学技術イノベーション研究科)
味村 和洋 (公益財団法人都市活力研究所)

②「勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本」

山本一彦

(神戸大学大学院
科学技術イノベーション研究科 教授
経営学研究科 教授 (兼任))



本講座の趣旨や昨年度までの流れ、参加者交流促進の取り組み等についてご説明致します。

合成生物学 (DNA合成、ゲノム編集等) とデジタルプラットフォーム (AI、Robotics、IoT等) の急速な発展と融合によって、微生物/植物/動物細胞/藻類等の生物資源を使って、有用物質を安定的かつ大量に生産し、利用することができるバイオエコノミー時代が到来した。勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本の現状及び課題を、海外の先端事例等を交えながら考察する。日本の現状と課題をふまえ、わが国のバイオエコノミーを牽引する「デジタル×バイオ」時代のベンチャー・エコシステムの構築を目指す神戸大学の取り組みを紹介する。

③「人と組織を動かすプレゼンテーションの極意」

新名史典

(株式会社Smart Present 代表取締役)



プレゼンテーションは単なる説明術でも、カッコいいトークテクニックでもありません。優れた技術、優れたソリューションもそのすばらしさを理解していただき、協力してくださる方々に動いてもらってはじめて社会に貢献できます。そのために必須の要素、ストーリー構成、そして魅せ方をトータルで考え、実践いただけるようにノウハウをご提供させていただきます。

8/22 (土)

④「デザイン思考入門」

祇園景子

(神戸大学 V.School 助教)



一言で「デザイン」といっても、服飾デザイン、建築デザイン、グラフィックデザインなど、様々な分野で使われている言葉です。本来、造形や図案、模様を考案することを意味しますが、広義では「必ずしも解が一つではない課題に対して、様々な角度から実現可能な解を見つけ出ししていくこと」と言えます。デザインコンサルタント会社IDEOは、デザイナーが0 (ゼロ) から1を作り出す際のマインドセットと思考について、デザイナーでない人たちも実践できるように手法を提案しました。それがデザイン思考と呼ばれ、イノベーションを創り出すアプローチとして注目されています。日本でも多くの企業がアイデアを生み出すためにデザイン思考を取り入れて実践しています。本講義では、デザイン思考を取り入れたワークショップを体験していただきます。多様な人たちと一緒に対話しながらアイデアを導き出す過程を楽しんでください。※入門塾卒業者

⑤「総合的健康度の新規可視化法「健康関数®」を社会実装へ」

水野敏

(理化学研究所生命機能科学研究センター
健康・病態科学研究チーム 上級研究員)



科学技術振興機構 (JST) の事業である「健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム」で開発した総合的健康度の新しい可視化手法である「健康関数®」は、疾患発症の前段階である末病状態を評価可能な技術です。健康度の可視化法の開発は、健康経営、働き方改革といった社会ニーズに対応した取り組みであり、健康関数®を用いた今後の事業展開については、非常に多くの企業の皆様から関心を寄せて頂いている状況です。2020年2月に一般社団法人プレジジョンヘルスケア研究機構も設立し、2020年度から本格的に健康関数®共創コンソーシアムを立ち上げ、健康度の可視化のみならず健康度の是正増進に資する食薬環境空間ソリューションの評価検証も含めた健康関数®事業の本格展開を目指します。これらの活動を通して、将来にわたり健康で「生き活き」とした人生を送っていく上での「羅針盤」の提供を実現していきます。

⑥「英国式イノベーションと日本文化」

佐相宏尚

(㈱ケンブリッジコンサルタンツ 代表取締役社長)



英国は世界トップクラスの大学を擁し、ノーベル賞受賞者も世界で2番目に多く輩出しています。人材に恵まれた環境の中、数多くの革新的なグローバルスタートアップが生まれてきているが、スティーブ・ジョブスのようなカリスマ経営者がほとんどいない。どのようにして、AIやIoTなど最先端分野で世界をリードするイノベーションが創造を続けているのか、日本でも同様の仕組みを作ることができるかを実例を交えながら考察します。

9/19 (土)

⑦「SDGsの世界感を体験するSDGsワークショップ」

今田大介

(一社インバウンド・ダイバーシティ協会 代表理事)



SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で2015年9月に国連加盟国193カ国全会一致で採択されました。2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標です。今回は、座学でSDGsを学ぶのではなくワークショップ形式で、カードゲームでSDGsの世界感をシュミレーション体験し、SDGsをライフサイエンス分野にどのように取り入れることができるかと一緒に考えましょう。※入門塾卒業者

⑧「医療機器開発の現状と課題」

保多隆裕

(神戸大学医学部附属病院
臨床研究推進センター 特命准教授)



内資・外資の製薬会社で10年余り創薬研究に励んだ後に退職。海外の大学院で博士号を取得し、上席研究員としてとどまる。帰国後は神戸大学医学部附属病院で医薬品、医療機器、健康食品のトランスレーショナルリサーチを実施。当講義では、医療機器の開発のプロセスおよび日本の医療機器産業の現状と課題について解説する。※入門塾卒業者

⑨「ヘルスケア産業の支援事業とその課題」

小島ゆかり

(㈱COPELコンサルティング 代表取締役CEO)



ヘルスケア産業の創出支援を2012年から行っており、その中で企業とアカデミアの方々のマッチングや、セミナー等の企画・運営を行ってきました。そのなかで、ヘルスケア事業を行うにあたっては、多様な分野の横断的知識が必要であり、企業規模の大小や業種に関わらず、多種多様な課題を抱えているということを感じました。課題を抱えている企業を支援すべく、現在の会社を設立しました。設立の経緯と、設立から1年半経過した現在までの経緯や課題などについて、事例を交えてお話いたします。※入門塾卒業者

1

2

3

10/17 (土)

⑩「事業化を目指す研究者のための
特許と契約」

浅野滋啓

(国立循環器病研究センター 産学連携本部長)



様々な大学や企業との多数のコラボレーションを推進してきた実際の体験を踏まえ、研究開発から事業化における知財戦略や契約交渉を中心に、企業の知財戦略は大学等のそれとどこが違うのか、企業はどんな点を重視しているか、企業とアカデミアの産学連携・企業間の共同研究開発を如何に上手く進めるか等、具体的事例も含めてお話しします。研究成果を事業につなげ成功させる上で、特許の観点で先ず考えるべき重要ポイント2つ、また、研究開発、事業開発、企画、営業その他、あらゆる部門の方々も、(法律の条文や契約書の文言など難しいことは分からなくても)、最低限ここだけは押さえておきたい特許や契約のエッセンスについて、皆様と一緒に考えたいと思います。※入門塾卒業生

4

⑪「ライフサイエンス分野における
産学連携によるイノベーション創出」

坂井貴行

(神戸大学 産官学連携本部 副本部長
神戸大学 V.School 教授)



企業の開発ニーズと大学の技術シーズをマッチングして、産学連携による新製品開発を行うことは、地域経済の活性化の為に非常に重要になってきています。本講演では、これまでの産学連携、とくにライフサイエンス分野における連携事例をとおり、地域企業の新事業に繋がる産学連携の成功ノウハウについてお話します。

⑫「株式会社ナティアスの起業」

片岡正典

(株式会社ナティアス 代表取締役社長)



起業前に考えておくべきこと、起業後の備えなどを伝えたいと思います。研究者がベンチャーを起業する意味や起業することで得られるベネフィット、苦労話なども交えて話します。大学や公的研究機関に在籍しながら起業を考えている皆様の一助になれば幸いです。

11/21 (土)

⑬「リーダーシップの本質と実践」

能見貴人

(FORESIGHT & LINX (株)
代表取締役社長)



今日、あらゆる局面でリーダーシップの重要性が唱えられているが、一方でリーダーシップの本質とは何かという問いに明確に答えられる人は少ない。多くの場合リーダーシップとマネジメントが混同され、組織でのリーダーシップ開発が間違った方向に進められているケースも少なくない。当講義では、リーダーシップに関する様々な疑問に答えつつ、リーダーシップの本質を定義し、リーダーとして心に留めておくべき重要な点を解説する。

5

⑭「製薬産業における
オープンイノベーション」

有岡伸悟

(塩野義製薬(株) 事業開発部
オープンイノベーション)



近年、製薬会社の研究開発生産性は低下の一途を辿っている。この原因の一つとして、単一の製薬会社での研究開発が難しくなっている事があげられるだろう。このような背景から、製薬会社ではアカデミアやベンチャー企業で見出された、新規アイデアや医薬品の種を見つけ出し、うまく開花させる取り組みを入れている。今回は、上記の取り組みを概観すると共に、弊社の事例をご紹介します。また、私も皆さんと同じMOT受講生でした(MOT4-6)。本MOT講座で学んだ事の実践や、ここで得られたネットワークを生かしたオープンイノベーションの実践に関しても、受講生に近い視点で共有できればと思います。※入門塾卒業生

⑮「ライフサイエンスでの起業：
Nexuspiral設立での経験」

増田直之

(Nexuspiral(株) 代表取締役社長)



私は2019年に共同研究者とともに、Nexuspiral株式会社を立ち上げました。起業するのは初めてであり、試行錯誤を繰り返しながらここまで進めてきました。特にライフサイエンス分野での起業は、参考になる例も少ないことからわからないことばかりでした。ライフサイエンス分野での起業・新規事業立ち上げなどにおいて少しでもお役に立つことがあるかもしれません。会社設立までの経緯と立ち上げた後の様々な経験について、お話しさせていただければと思います。※入門塾卒業生

12/19 (土)

⑯「ベンチャーマインド」

安達宏昭

((株)創晶 代表取締役社長)



2005年に大阪大学発ベンチャーの「株式会社創晶」を起業する際、私自身の思いとして、ベンチャー起業に対する心理的な不安がマイナス要因として立ちはだかっていたが、心理学的な手法でのメンタルトレーニングにより解消することができた。それ以来、ベンチャーマインドを大切に、新しいことへの挑戦やいろいろな行動することに努めてきた。その結果、現在までに6社のベンチャー設立に関わってきた。本講義では、ベンチャーマインドと題しているが、ベンチャー起業に特化せず失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを獲得するヒントを、私の起業経験からお伝えたいと考えている。つまり、誰にとっても必要なメンタリティーであるベンチャーマインドの重要性を理解し、皆様と一緒に議論しながら、ベンチャーマインド獲得に向けたトレーニングも実施できればと思っている。皆様のマインド変化のきっかけとなる講義にできれば幸いです。

6

⑰「修了式」(振り返り)